

地区名	国分寺市
研究主題	児童が主体的に結果を整理し、考察し、表現する学習活動の工夫 ～児童の対話を重視した教師の関わりを通して～
<p>《 研究の特色 》</p> <p>1 主題設定の理由</p> <p>これまで理科部では主体的な問題解決型の学習を行うために様々な研究を行ってきた。昨年度は、児童の考えを生かして学習問題をつくる方法について研究を行った。その結果、自然事象と触れ合う時間を十分に確保し、児童の言葉で学習問題を立てることで、児童に目的意識をもって学習に取り組ませることができた。しかし、実験までは楽しく意欲的に取り組むものの、考察を苦手と感じている児童が多いことが課題として残ったため、本年度は児童同士が対話しながら、主体的に結果を整理、考察、表現できる場の工夫を研究テーマとした。</p> <p>そこで、本年度は実験を進めるにあたり、</p> <p>① 学習過程に見通しをもたせること</p> <p>② 考察場面において児童同士の対話を重視した学習形態を工夫すること</p> <p>以上を意識した授業展開を行うことで、主体的に結果を整理し、考察し、表現できる学習活動について研究した。</p> <p>2 今年度の研究</p> <p>① 単元 第6学年「土地のつくり」</p> <p>授業者 国分寺市立第一小学校 金子睦</p> <p>研究主題との関連 実際の地層から採取した礫岩、砂岩、泥岩、貝の化石を観察し、地層のでき方について予想させ、地層の堆積モデルを作成した。作成したモデルから、実際の地層のでき方について考察させた。</p> <p>② 単元 第6学年「てこのはたらき」</p> <p>授業者 国分寺市立第七小学校 山岸勘人</p> <p>研究主題との関連 単元の終わりの発展として、左右非対称な形の天秤を児童自身に作成させ、てこのきまりが成り立つかどうか実験、考察させた。</p> <p>3 成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決の過程を考え、主体的に結果、考察、表現をすることができていた。 ・ 児童同士の対話を充実させるために、ジグソー学習を取り入れ、一人ひとりの課題をもとに観察をし、学びが深まった。 ・ 予想をする際にグループで付箋を用いて話し合うことで、考えをもてない児童も話し合いに参加することができていた。 ・ 児童同士の対話を重視したため、教師が円滑に進めさせようと意図して補助発問などで関わり過ぎてしまい、逆に児童の主体性を低下させてしまった。 ・ 児童同士に対話をさせるときに何について話し合いをさせるとよいのかをあらかじめ明確にしておく必要があった。(実験の妥当性、客観性) 	